

釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



令和7年9月26日三守絢子先生（新陽小）



令和7年10月9日谷口敬太先生（芦野小）

新陽小学校の三守絢子先生は、小学校4年の国語の授業で、目標を「「不思議な言葉」の特徴が生きる「結末」を意識して、想像したことがらを整理しながら、物語の設定や展開を考え、記述することができる」と設定しました。学習の見通しをもつ場面では、モデルとする物語の導入、展開、終末の特徴に気付かせ、自分なりに作成する物語のおおよその流れに見通しをもつことができるように働きかけていました。

芦野小学校の谷口敬太先生は、小学校4年の社会の授業で、目標を「アイヌ古式舞踊の由来や歴史に着目して、アイヌ古式舞踊が長い間、人々に受け継がれてきたことについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ」と設定しました。学習問題をつくる場面では、新旧のアイヌ古式舞踊の様子を比較して、舞踊が長く続いてきているということに気付けるように働きかけていました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう授業にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 三守絢子先生の授業では、課題に没入できるよう、まずは問いに対して試行錯誤する時間を設定すること。
- ② 谷口敬太先生の授業では、課題意識を高められるよう、比較教材を早い段階で提示すること。



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。

また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

